

## ☆「紅茶教室」

中央公民館

おいしい紅茶のいれ方講座を昨年10月より開催しています。受講生は、16名です。

「紅茶が大好き、でも、おいしい紅茶のいれ方がわからない」と最初は戸惑いながらも、講師の指導のもと容器を暖め茶葉の量を計り、熱湯をサーバーに注いで茶葉を蒸らし、茶こしを使い抽出して、できあがり。デザートは紅茶スコーンはオーブンで焼きあげました。

受講生からは「紅茶の香りが素敵」、「紅茶スコーンは、外はサククリ、中はふんわりしておいしい」などの感想がありました。



デザートは、おいしい紅茶スコーン

中央公民館 ☎(22) 5072

## ☆日本画教室

本納公民館

初心者でも気軽に参加できる「やさしく学べる日本画教室」の講座です。

平成25年度の開催期間は、5月～26年2月まで、月1回、火曜日に1回2時間30分です。今年度の受講生は、男女14名です。



先生の描く柿はおいしそう!

「日本画に興味はあるけど、少し難しいのかな」と思う方でも矢部宏先生(日本画家・本納絵馬5代目)の楽しいトークで気軽に学んでいます。

受講生からは「筆の運びが難しかったけど、とても楽しかった」などの感想を聞いています。

本納公民館 ☎(34) 2349

## ☆そば打ち教室

鶴枝公民館

今年の「年越しそばを自分で打つ」ことを目標に10月より開催しています。受講生は、12名で大半の方が初心者です。手打ちそばだけでなく、そば粉と寒天液を混ぜ合わせて作る甘さ控えめで、なめらかな食感のそば羊羹も学べます。また、打ったそばを持ち帰り、家族みんなに味を楽しんでもらえるような「振る舞いの心」を大切にしていきたいと先生は言っています。

受講生から「二回目からようやくコツがつかめ、上手にできた」など熱心に取り組んでいる様子が感じられました。



思ったよりも力がいらいます

鶴枝公民館 ☎(25) 1834

## もばらの偉人

おおたわさいのみねたふこう  
大田和齋・嶺田楓江

中央消防署敷地内にありました大田和齋・嶺田楓江の頌徳碑が、平成二十四年十二月、藻原寺大堂の茂原公園側に移設されました。茂原の偉人お二人の業績を紹介します。

大田和齋(一八二二～一九〇二)は、茂原市菅網出身の漢学者・教育者です。江戸を代表する詩人山地蕉窓に詩文を学び、天保十二年(一八四二)に江戸幕府最高学府の昌平黌に入り漢学を学びました。その後、諸国遊歴に出て、各地の篤学者、大家から学問を学んで見聞を広め、清川八郎勤皇の志士たちとの交流をはかり国事を論じました。

安政四年(一八五七)浅草馬道の裏通りに小桃源閣(儒道塾)を開き、八百余人の門下生を育成したと伝えられています。

江戸幕府の滅亡後、帰郷した和齋は、明治十一年(一八七八)に郷里において蘆村塾を開き、広く漢学、詩文を教授するとともに、同二〇年(一八八七)、英学科をも加え私立英漢育才学校と改称し、英語の教育に力を注ぎました。

嶺田楓江(一八一七～一八八三)は、丹後田辺藩士(現京都府舞鶴市)で、著名な儒学者・教育者としても知られています。佐藤一齋に儒学を、箕作阮甫に蘭学を学び、諸国を遊歴して見聞を広め、更に蝦夷地(現北海道)を調査して開拓に利があることを幕府の老中安藤信正に説くなど国事に奔走しました。

江戸幕府の滅亡後、上総国請西等(現木更津市)へ移り住んだ楓江は、明治九年(一八七六)に、埴生郡地引村(現長南町)妙覚寺に開校された乃有学舎に招かれて教鞭をとるとともに、同一〇年藻原寺の塔中、東光院に賛化学校が開校されると楓江は同学校の教頭として、生徒たちの教育に力を注ぎました。



頌徳碑 大田和齋(左)・嶺田楓江(右)

生涯学習課 ☎(20) 1559